

2025 vol.02

10/4 sat

関西学院大学大学院 言語コミュニケーション文化研究科

公開セミナー & 入試相談会

kwansei gakuin university

入場無料・事前申込制

＊セミナー（13:00－14:20）

講演タイトル 共通語としての日本語

講師 オストハイダ テーヤ
(言語コミュニケーション文化研究科・教授)

＊入試相談会（14:30－16:30）

※最終入場 16:00

西宮上ヶ原キャンパス G号館IS-206 教室

西宮市上ヶ原一番町1-155



関西学院大学大学院
言語コミュニケーション文化研究科

tel.0798-54-6180

www.kwansei.ac.jp/g_language

公開セミナー 2025. 10/4 sat (13:00-14:20)

入場無料
事前申込制

大学院言語コミュニケーション文化研究科の教員による講演会「公開セミナー」を開催します。
セミナーの後は、研究科説明会および入試相談会を開催します。
どなたでも自由にご参加いただけますので、お気軽にお申込の上、ご来場下さい。

*講演タイトル

共通語としての日本語

*概要

☆日本の大学生の10人のうち、7人が日本語は特に難しい言語であると考えている。韓国人留学生の10人のうち、9人はそうとは思わない。

☆日本における外国籍住民の6割以上は日本語が話せる。半数以下は英語が話せる。

☆日本の街角で、外見的に明らかに「外国人」と判断される人が日本語で道を尋ねると、尋ねられた日本人の10人のうち、3人がその外国人と同行する日本人に返答する。「外国人」が「車いす使用者」に入れかわっても同様である。

本セミナーでは、上のようなデータを見ながら、日本語による「多文化間コミュニケーション」のイメージと実態について考え、さまざまな背景をもつ社会構成員が実際のコミュニケーションのなかで形成する「共通語としての日本語」のありかたを模索する。

*講師紹介



オストハイダ テーヤ

(言語コミュニケーション文化研究科・教授)

日本の多言語社会と日本語話者の多様性に注目し、政策、教育、意識、行動など、さまざまな観点から「マイノリティ」とのコミュニケーションについて研究。

■主な刊行物

『くやしい日本語』と多文化共生 (共著、ココ出版、2019年)

『グローバル化と言語政策』 (共著、明石書店、2017年)

『多言語社会日本—その現状と課題』 (共編著、三元社、2013年)

『言語文化教育実践』 (共著、金星堂、2012年)

『言語意識と社会—ドイツの視点・日本の視点』 (共著、三元社、2011年)

*会場アクセス

関西学院大学 西宮上ヶ原キャンパス

阪急電車 今津線「甲東園」駅
または「仁川」駅から西へ
徒歩約12分
または「甲東園」駅から
阪急バス約5分
「関西学院前」下車

西宮市上ヶ原一番町1-155
G号館IS-206教室

https://www.kwansei.ac.jp/pr/pr_000374.html



*「公開セミナー＆入試相談会」

詳細・お申込みはこちら



https://www.kwansei.ac.jp/g_language/news/detail/69

お申込み締切日: 2025年10月2日(木)